

アシュワニ・クマール元法務大臣の功績及び経歴について

【賞賜：旭日大綬章】

【功績：日本・インド間の関係強化及び相互理解の促進に寄与】

（経歴）

アシュワニ・クマール氏は、インド名門のデリー大学、ジャワハルラル・ネルー大学及びパンジャブ大学において法律を学び、弱冠34歳にして最高裁の法廷判事に、37歳にして法務次長に任命される。平成14年から28年まで上院議員を務めた。

平成17年5月の小泉純一郎総理のインド訪問の際にインド商工会議所連盟（FICCI）により設立された「印日議員フォーラム」の初代会長に就任、議員交流に先鞭をつけるきっかけとなった。同人は、平成19年の安倍晋三総理のインド訪問時には接伴大臣として、平成26年1月の安倍晋三総理のインド訪問においては対日関係首相特使として、インド側の接遇の調整役として尽力した。

また、アシュワニ・クマール氏は、平成25年12月の天皇皇后両陛下のインド御訪問の受け入れにおいて、首相特使として、両陛下の御訪問の成功に大きく貢献した。

さらに、アシュワニ・クマール氏は、STSフォーラムの評議員としての役割を務め、科学技術面における日インド間の交流にも尽力してきた。